

日本の自壊。



私たちは、国籍法改悪に反対します。
平成20年12月5日「国籍法一部改正案」が参議院を通過、可決しました。国の根幹に関わる重要法案にもかかわらず、国会での審議はわずか9時間、ほとんどの国会議員が内容を知らないまま衆議院を通過し、多くの反対意見が国会にもたらされました。しかし、国民の声を無視する国会議員らによって参議院で可決されました。その結果、結婚していなくても父親の認知だけでDNA検査もなしに簡単に子供に日本国籍を与えることが可能になります。この法案は、婚姻が国籍付与の条件になることを違憲とした今年6月の最高裁の判決を受けたものです。
しかし、偽装結婚や虚偽の認知で子供に日本国籍を付与できることになり、現状でも国内外の間組組織による偽装結婚が絶えない中で、わが国の安全、治安に重大な問題をもたらす危険があります。
また、容易に選挙権が与えられることになり、国政の行方に特定勢力の影響が及ぼす可能性があります。

私たちは、婚姻が国籍付与の条件になることを違憲とした最高裁判決に抗議します。

私たちは、国籍法改悪を早期に是正するため、DNA鑑定義務付けと違反罰則の強化を要求します。

私たちは、参議院で民主党が付与した付帯決議案から、重国籍を検討するという文言の削除を要求します。

代表委員

国籍法是正を求める国民ネット すぎやまこういち 花岡信昭 高山正之 西村幸祐

発行日/2009年1月18日
発行所/株式会社オークラ出版
電話/03-3792-2411(営業部)
03-3793-5098(編集部)

定価:1,200円(本体1,143円)
雑誌 62153-65
OAK MOOK 264号

ISBN978-4-7755-1315-6

C9431 ¥1143E

printed in japan

